

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境表示の信頼性確保のための検証事業費		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	環境経済課		環境経済課長 大熊 一寛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	8 環境・経済・社会の統合的向上 8-1 経済のグリーン化の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	グリーン購入法第14条、附則第2項		関係する計画、 通知等	環境基本計画 第2次循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	古紙配合率偽装問題に端を発する一連の偽装により低下している環境表示に対する信頼性を回復させ、グリーン購入を拡大させるために、グリーン購入法に基づく特定調達品目を製造する企業が、環境表示の信頼性を担保するための手法を確立し、その手法を用いた検証を実施するとともに、将来的に企業、消費者の取組みで信頼性の高いグリーン購入市場を実現する手法を検討する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>一般競争入札(総合評価落札方式)で、以下の内容を実施。</p> <p>①信頼性確保のための調査手法の検討及び検証(再生プラスチック配合率)</p> <p>②グリーン購入の普及拡大に不可欠な特定調達品目の信頼性確保に資するため、基本方針に掲載された品目について、調査手法、検証手法などを調査、検討し、環境表示のガイドラインとしてとりまとめ</p> <p>③国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査</p> <p>④調達者の環境情報確認の信頼性向上方策</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	205	122	28	12		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	205	122	28	12			
	執行額	158	69	9				
執行率(%)	77.2	56.9	33.0					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	地方公共団体におけるグリーン購入実施率(%)			%	73.8	78.6	81.3	100
			達成度	%	73.8	78.6	81.3	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	検討会・WG開催回数			回	11 (12)	16 (13)	3 (12)	— (3)
			算出根拠	本事業は特定調達品目選定調査や地方公共団体のグリーン購入調査を実施しており、検討会・WG開催回数などの費用から単位あたりのコストを算出することは困難である。				
単位当たり コスト	— (円/)							
平成25・26年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	12	—					
	計	12	—					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	古紙配合率偽装問題に端を発する事業であり、環境表示に対する信頼性の確保は、国民にとっても、商品を選択する上で重要であり、国としての信頼性の確保が求められている。 また、同問題は、業界団体等で組織的に取り組まれた問題であり、国が統一的な施策を打ち出す必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定にあたっては、一般競争入札の総合評価落札方式を採用している。広く入札への参加を促し、競争性の確保を行っている。 平成24年度は大きな不用率となっているが、ガイドラインの見直しを行うこととなり、セミナー等の開催を見送ったため、当初予算に比べ執行額が少なくなっている。また、平成25年度については、更に要求内容を精査し、必要な要求を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業性の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	成果実績については、毎年度着実に伸びている。また、活動実績についても、毎年見込みにあった活動実績となっている。成果物についても、環境表示の信頼性確保のためのセミナー等で適切に活用されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>試験実施状況、調査結果、検討結果については、業務内の検討会で報告されていることから、事業実施現場の状況やその内容、深度等は適宜適切に把握できていると考えている。</p> <p>また、環境ラベル等の信頼性確保方策についても、業務内の検討会で報告されていることから、事業実施現場の状況やその内容、深度等は適宜適切に把握できていると考えている。</p> <p>なお、本事業で検討した手法を活用することにより、将来的に消費者や事業者の自主的な取り組みへと転換することが可能となる。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	支出実績等を勘案し、予算額を節減すべき					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	事業全体の見直しを行い、一部事業は281「国等におけるグリーン購入推進等経費」に統合し、本事業は廃止した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	228	平成23年	236	平成24年	243

環境省
9百万円



【総合評価入札・請負】

A. (株) インテージリサーチ
9百万円

信頼性確保のための調査手法の検討
及び検証、ガイドライン策定

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)インテージリサーチ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査・検討・検証業務	7			
諸謝金等	委員等謝金 9人	1			
会場賃料等	検討会会議費	1			
印刷製本費	資料、ガイドライン 等				
雑役務費	労務費				
一般管理費		1			
受注者負担分		▲1			
計		9	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インテージリサーチ	信頼性確保のための検証業務	9	3	-